

仕様書

件名 令和8・9年度国立文楽劇場公演記録映像の収録及び完成パッケージ作成業務

1. 調達の目的及び概要

(1) 目的 本調達は、国立文楽劇場で開催する文楽、邦舞、邦楽、歌舞伎、民俗芸能、大衆芸能等の伝統芸能を公開する事業並びに伝承者を養成する事業に係る公演（以下「主催公演」という。）について、演技及び演出を映像等により記録し、編集を施し、記録媒体に完成パッケージを保存することを目的とする。また、完成パッケージのうち一部の公演を有料配信用動画として作成する。

(2) 公演の映像収録業務に関する作業内容

本業務における「公演の映像収録業務」（以下「本収録業務」という。）とは、受託者が所持又は調達する中継車等収録機器（以下「収録機器」という。）を使用し、主催公演の映像を振興会が提供する音声と共に収録する作業である。

(3) 公演記録映像の編集及び公演記録映像の完成パッケージ等作成業務に関する作業内容

本業務における「公演記録映像の編集及び公演記録映像の完成パッケージ等作成業務」（以下「本編集業務」という。）とは、上記（2）で作成した収録物を振興会の保有する公演記録映像編集機器（以下「編集機」という。）を操作して、完成パッケージ（以下「完パケ」という。）及び有料配信用動画を作成する作業である。

(4) 履行期間 令和8年4月1日から令和10年3月31日まで（2年間）

(5) 履行場所 大阪府大阪市中央区日本橋1-12-10 国立文楽劇場構内

2. 調達内容

(1) 本収録業務に関する要件

① 収録方法について

(I) 公演の映像収録方法は、独立行政法人日本芸術文化振興会（以下「振興会」という。）国立文楽劇場事業推進課調査資料係（以下「調査資料係」という。）公演記録担当者（以下「公演記録担当者」という。）が作成した公演記録映像収録用カット割台本（以下「カット割台本」という。）に基づき、複数台のHDカメラで撮影し、画角及び画質の調整を行い、スイッチャーにより切替えられた映像信号と「令和8・9年度国立文楽劇場公演記録音声収録業務及び視聴覚資料の複製等業務」の契約業者から提供された音声信号を、リアルタイムで記録媒体に収録するものとする。

(II) 音声信号は3階中継室でミキシングされたものを収録すること。

(III) スイッチャーで切り替えられた映像を収録する以外に、後日映像の差し替えができるよう、各カメラの映像も同時に収録すること。

② カット割台本について

(I) 公演記録担当者が作成したカット割台本については、本番直前までの変更に対応すること。

(II) 公演記録担当者はカット割台本を下見の前日までに受託者に提供する。受託者はカット割台本をデジタル化し、カメラマンはデジタル表示機器を使用して台本を確認すること。

③ 記録媒体について

- (I) 記録媒体はS S Dを使用する。記録媒体は振興会が無償で支給する。
- (II) S S Dは、S A T A接続2.5インチのS S Dメディアを使用し、S S Dに収録する際のファイル形式はD N x H D 2 2 0 Q Tとする。
- (III) 万が一映像収録機材の故障があった場合に備え、必ずバックアップ用収録機材を1台以上用意すること。収録機材は上記（II）のファイル形式の画質に相応するものであれば機種の指定は行わない。
- (IV) 収録された記録媒体は、本収録業務完了後速やかに調査資料係へ引き渡すこと。

④ 館内放送について

- (I) 中継車では収録中の映像音声収録機器からの信号を3階中継室経由で3階A V室へ送り、館内I T V及びHDモニターへの送出設備に接続し送出すること。
A V室での収録では収録中の映像音声収録機器からの信号を館内I T V及びHDモニターへの送出設備に接続し送出すること。
- (II) 収録中の映像音声信号を3階A V室にH D – S D I形式で送り返す機器を用意すること。

⑤ 収録機器について

- (I) 受託者は本収録業務を遂行するため、整備された以下の機材を準備しなければならない。
 - (i) 2階文楽劇場客席内で放送用HDライブカメラ3台を使用する場合（文楽公演、歌舞伎公演、特別企画公演等）
*客席に上記カメラを設置し収録すること。また、下記収録機器等を接続し収録すること。

(A) 中継車

- ・収録機器が多く、国立文楽劇場内に設置する場所がないため、中継車による収録を行う。
- ・駐車位置は、国立文楽劇場1階駐車場口にある中継用コンセント盤横とする。
- ・駐車位置に停車できる中継車を使用すること。駐車位置の間口は横320cm高さ340cmである。
- ・中継車電源は発電機運用が不可なため、駐車位置に設置された電源端子盤から提供される単相3線式電源（電源容量32KVA）を使用すること。なお、運用において、100Vが不安定な場合は必要に応じて200V運用ができるよう、別途変圧器を用意すること。
- ・中継車には公演記録担当者最大2名が同乗し、業務の実施状況を確認することがある。

<中継車に設備する機器>

(a) モニター

- ・スイッチャー用メインモニター…1台以上
- ・スイッチャー用カメラモニター…3台以上
- ・V E用マスター モニター…1台以上
- ・V E用カメラモニター…3台以上
- ・V E用波形モニター…3台以上

(b) スイッチャー…1台

- ・放送用HDライブカメラ3台以上切り替えることが可能であること。

(c) S S Dレコーダー…4台以上（本線用1台、各カメラ用3台）

(B) 収録カメラ

- (a) 放送用HDライブカメラ本体…3台
- ・2／3型220万画素以上の3CCDまたはCMOSで、主な仕様が感度F1.0(2000Ix)、SN比60dB以上に相応する放送用HDライブカメラであること。
- (b) 上記収録カメラ用スタンダードレンズ(広角用・25倍ズーム以上)…1台
- (c) 上記収録カメラ用スタンダードレンズ(望遠用・76倍ズーム以上)…2台
- (d) 上記収録カメラ用CCU…3台
- (e) 上記収録カメラ用三脚…3台
- (C) カメラ等接続ケーブル…一式
- (D) その他
- (a) 台本用デジタル表示機器…3台
- ・黒背景に白文字が表示可能であること。また、台本の修正に対応可能であること。機器及びアプリケーションの仕様については指定しない。
- (ii) 2階文楽劇場客席内で放送用HDライブカメラ2台を使用する場合(舞踊公演、邦楽公演、舞踊邦楽公演等)
- *客席に上記カメラを設置し収録すること。また、下記収録機器等を接続し収録すること。
- (A) 中継車
- 2.(1)⑤(I)(i)(A)と同様
- <中継車に設備する機器>
- 2.(1)⑤(I)(i)(A)(a)～(b)と同様
- (c) SSDレコーダー…3台以上(本線用1台、各カメラ用2台)
- (B) 収録カメラ
- (a) 放送用HDライブカメラ本体…2台
- ・2／3型220万画素以上の3CCDまたはCMOSで、主な仕様が感度F1.0(2000Ix)、SN比60dB以上に相応する放送用HDライブカメラであること。
- (b) 上記収録カメラ用スタンダードレンズ(広角用・25倍ズーム以上)…1台
- (c) 上記収録カメラ用スタンダードレンズ(望遠用・76倍ズーム以上)…1台
- (d) 上記収録カメラ用CCU…2台
- (e) 上記収録カメラ用三脚…2台
- (C) カメラ等接続ケーブル…一式
- (D) その他
- (a) 台本用デジタル表示機器…2台
- ・黒背景に白文字が表示可能であること。また、台本の修正に対応可能であること。機器及びアプリケーションの仕様については指定しない。
- (iii) 2階文楽劇場で放送用HDライブカメラを1台使用する場合(文楽鑑賞教室解説収録等)
- *客席に上記カメラを設置し収録すること。また、下記収録機器等を接続し収録すること。
- (A) メインモニター…1台
- (B) VE用マスター モニター…1台
- (C) SSDレコーダー…1台
- (D) 収録カメラ

- (a) HDライブカメラ本体…1台
・2／3型220万画素以上の3CCDまたはCMOSで、主な仕様が感度F1.0(2000Ix)、SN比60dB以上に相応する放送用HDライブカメラであること。
- (b) 上記収録カメラ用レンズ(広角用・2.5倍ズーム以上)…1台
- (c) 上記収録カメラ用CCU…1台
- (d) 上記収録カメラ用三脚…1台
- (E) カメラ等接続ケーブル…一式
- (F) その他
- (a) 台本用デジタル表示機器…1台
・黒背景に白文字が表示可能であること。また、台本の修正に対応可能であること。機器及びアプリケーションの仕様については指定しない。
- (iv) 3階小ホールで放送用HDライブハンディカメラ1台を使用する場合(浪曲録声会等)
＊4階小ホール照明操作室に上記カメラを設置し収録すること。
- (A) メインモニター…1台
- (B) VE用マスターモニター…1台
- (C) SSDレコーダー…1台
- (D) 収録カメラ
- (a) HDライブハンディカメラ本体…1台
・2／3型220万画素以上の3CCDまたはCMOSで、主な仕様が感度F1.0(2000Ix)、SN比60dB以上に相応する放送用HDライブカメラであること。
- (b) 上記収録カメラ用レンズ(2.2倍ズーム以上)…1台
- (c) 上記収録カメラ用CCU…1台
- (d) 上記収録カメラ用三脚…1台
- (E) カメラ等接続ケーブル…一式
- (v) 有料配信動画(文楽公演)を作成する公演を収録する場合、受託者は上記2.(1)⑤(I)
(i)及び(ii)の機材に以下の機材を追加すること。なお、この機材における収録は画角を固定し、原則としてカメラマンの操作はないものとする。
- (A) SSDレコーダー…1台
- (B) 収録カメラ
- (a) HDライブハンディカメラ本体…1台
・2／3型220万画素以上の3CCDまたはCMOSで、主な仕様が感度F1.0(2000Ix)、SN比60dB以上に相応する放送用HDライブカメラであること。
- (b) 上記収録カメラ用レンズ(2.2倍ズーム以上)…1台
- (c) 上記収録カメラ用CCU…1台
- (d) 上記収録カメラ用三脚…1台
- (C) カメラ等接続ケーブル…一式
- ⑥ 収録機器の設置等について
- (I) 受託者は収録機器の設置、カメラケーブルの敷設、調整等を稽古開始時間及び公演開場時間の1時間前までに終了すること。
- (II) 収録機器は振興会が指定する場所に設置すること。(別紙1-1～1-4参照)

(III) 収録機器の設置等には以下の業務を含む。

- (i) 収録カメラ設置のための移動式客席の撤去及び設置(中央座席19列13番～14番。撤去した座席は鳥屋または3階小ホールロビー内に保管する。保管場所への運搬含む。)
- (ii) 収録カメラの設置及び撤去
- (iii) カメラケーブル敷設、養生、撤去
- (iv) 収録機器間の接続、映像信号・音声信号等の接続及び調整（各機器の設置場所及び回線経路は別紙2-1～2-3参照）
- (v) 劇場電源盤からの電源接続（200V、必要に応じて変圧器用意、電源は振興会が無償で提供）
- (vi) インカム（ClearCom）の接続（機材は振興会が無償で提供）
- (vii) ITV映像切替機（RIDEEL）の接続（機材は振興会が無償で提供）
- (viii) その他必要な機器の接続

(IV) カメラ設置場所から収録機器（中継車等）までの間の配線は、振興会所有の光カメラ回線（多治見コネクター）を無償で使用することができる。

⑦ 振興会所有の備品の貸与について

- (I) 振興会は収録業務に必要な以下備品を無償で貸与する。
- (i) カメラ撮影用椅子（3脚）
 - (ii) その他振興会が必要と判断した器具

⑧ 公演記録映像収録業務従事者について

- (I) 公演記録映像収録業務従事者（以下「収録業務従事者」という。）は、文楽、邦舞、邦楽、歌舞伎、民俗芸能、大衆芸能等の伝統芸能の映像収録に関し、専門的知識（伝統芸能固有の演技・演出や伝統芸能固有の舞台の各部分の名称や構造等についての知識等）を有し、再録のできない本番1回のみの映像等の収録に対応できる技術と経験を有すること。

- (II) 収録業務従事者の業種及び配置は原則として下表のとおりである。

業種	下見	テスト	本番
収録業務従事者			
テクニカルディレクター	○	○	○
カメラマン	△	○	○
ビデオエンジニア	—	○	○
VTRオペレーター	—	○	○

注. △は、チーフカメラマンのみ

(III) 収録業務従事者は以下の要件を満たすこと。

- (i) テクニカルディレクター
 - (A) 直近10年以上の映像収録経験を有し、うち5年以上テクニカルディレクターとしての実務経験を有すること。
 - (B) 収録カメラのカメラマンとして5年以上の経験を有し、カメラの特性やその操作について習熟した技能を有すること。
 - (C) 劇場等において3台以上のカメラを切替えて収録する舞台中継等の経験を有し、太夫替り、道具返し、盆廻し、浅葱幕ふりかぶせ、同ふり落し等の舞台転換等や床、山台、御簾内等の演奏場所、及び口上、めりやす、しゃぎり等の伝統芸能特有の舞台進行に的確に対応し、カメラの特性やその操作性を把握した上で適切なカメラアングルの指示やカメラの切替え操作を実施できる技能を有すること。
 - (D) 公演の内容を理解し、その制作意図に沿った映像を構成する技能を有すること。

- (E) 下見では、チーフカメラマンと共に公演に立会い、公演記録担当者が作成したカット割台本に基づいて収録内容を確認する能力があること。
- (F) 公演記録担当者からカット割台本について技術的な助言を求められた場合に対応できる能力があること。
- (G) テスト及び本番では、収録機器のモニター画面及びカット割台本に基づいて、カメラマン及びビデオエンジニアと密接な連携をとり、的確な映像の切替えができること。
- (H) 本番直前までのカット割台本の変更に対応できること。
- (I) 本収録業務の特殊性を認識し、かつ本収録業務に携わる収録業務従事者（カメラマン、ビデオエンジニア及びVTRオペレーター）を統括し、的確な指示ができること。

(ii) カメラマン

- (A) 放送用HDカメラのカメラマンとして直近5年以上の経験を有し、カメラ操作について撮影に支障のない優れた技能を有すること。
- (B) カメラ操作を担当し、テクニカルディレクターの指示に従い、適切な映像を撮影する技能を有すること。
- (C) 劇場等において3台以上のカメラを切替えて収録する舞台中継等の経験を有し、太夫替り、道具返し、盆廻し、浅葱幕ふりかぶせ、同ふり落し等の舞台転換等や床、山台、御簾内等の演奏場所、及び口上、めりやす、しゃぎり等の伝統芸能特有の舞台進行に対応し、迅速なカメラ操作によって適切な構図で撮影する技能を有すること。
- (D) カメラマンの中からチーフカメラマンを1名選任し、テクニカルディレクターと共に下見に参加し、カット割台本に基づいて本収録内容を確認する能力があること。
- (E) テスト及び本番において、テクニカルディレクター並びに他のカメラマンと密接な連携をとって、適切な撮影を行う能力があること。

(iii) ビデオエンジニア

- (A) カメラの映像調整等の技術分野を担当できること。
- (B) 直近10年以上の映像収録経験を有し、うち5年以上ビデオエンジニアとしての実務経験を有すること。
- (C) 劇場等において3台以上のカメラを切替えて収録する舞台中継等の経験を有し、フェードイン、フェードアウト、カットイン、カットオフ、チョンパ等場面ごとに大きく照度や色彩が変化する舞台照明に的確に対応し、収録映像を調整する技能を有すること。
- (D) 文楽人形のかしらの胡粉による彩色や、衣裳の色彩、邦舞における定型の舞台装置など伝統芸能特有の白塗りの化粧を施した出演者、金紙張りの大道具や極彩色の衣裳・幕類等伝統芸能特有の多様な色彩に的確に対応し、色彩等を忠実に再現した映像を収録する調整技術を有すること。
- (E) テスト及び本番では、テクニカルディレクターと密接な連携をとり、公演の内容に応じた適切な映像調整が行えること。

(iv) VTRオペレーター

- (A) 記録用SSD機器の操作を担当し、カラーバー、音声基準信号の挿入及びバックアップ収録ができること。
- (B) 上記機器の操作に習熟し、SSDを取り扱う技術を有していること。

⑨ 収録機器の動作確認

- (I) 受託者は、契約日から1回目の収録業務までの期間に国立文楽劇場内において本番通り収録機器を設置し、動作確認を行うこと。
- (II) 収録機器の故障・不具合等が生じた場合は速やかに措置を行い、公演収録に支障をきたすこ

とのないようにすること。

⑩ 業務時間

業務時間は、原則として8：00～22：00の間とし、この範囲内で業務の開始から終了までを行うものとする。ただし、本収録業務は公演及び稽古の進行に伴うため、公演及び稽古の開始時間及び終了時間によっては、上記時間の範囲外となる場合がある。

(2) 本編集業務に関する要件

① 編集方法について

(I) 本収録業務によって記録媒体（S S D）に録画された映像音声素材の編集を、振興会が保有する編集機で行う。

② 公演記録映像編集業務従事者について

(I) 公演記録映像編集業務従事者（以下「編集業務従事者」という。）は以下の要件を満たすこと。

(i) 振興会が保有する編集機を操作できること。編集機を構成している機器及びソフトウェアは以下のとおりである。

(A) A V I D 製 A r t i s t D N x I Q

(B) B l a c k m a g i c 製 H Y P E R D E C K S T U D I O P R O

(C) B l a c k m a g i c 製 M U L T I D O C K

(D) U N I T E X 製 L T F S L T 7 0

(E) J V C 製 S R - H D 2 7 0 0

(F) M i c r o s o f t 製 W i n d o w s 1 0

(G) M i c r o s o f t 製 W o r d 2 0 1 9 及び E x c e l 2 0 1 9

(H) A V I D 製 M e d i a C o m p o s e r

(I) V I D E O T O R N 製 S T - V 6

(J) U N I T E X 製 F A S T a p e L T A d v a n c e d

(K) A c r o n i s T r u e I m a g e 2 0 2 1

(ii) 振興会が保有する編集機が契約期間中に更新された場合、編集業務従事者は新機器について説明書等で理解し、操作できること。

③ 編集業務内容について

(I) 編集業務従事者は、公演記録担当者が作成したテロップ原稿、テロップ挿入位置、不要部分の削除箇所等を記載した指示書をもとに編集を行う。また、収録映像及び音声に部分的なトラブルがあった場合は、収録時に各カメラで撮影した録画映像及び振興会が提供する音声に差し替える場合がある。

(II) 編集業務従事者はテロップ及び別紙3～別紙6の作成において、M S - D O S の外字作成ソフツによる作字を行う場合がある。

(III) 編集業務従事者は完パケとして、以下のものを作成し調査資料係に納品すること。納品日は原則として本収録業務完了後1か月以内とする。

(i) L T O テープ（下記（IV）を参照）

(ii) 外付けHDD（下記（IV）を参照）

(iii) L T O テープ詳細票及びL T O テープ管理シート（別紙3及び別紙4参照）

(iv) ブルーレイディスク（ハイビジョンモード）

(v) ブルーレイディスクパッケージラベル（別紙5参照）

(IV) 編集業務従事者は、編集機で編集した映像音声データをL T O テープおよび外付けHDDに保存すること。映像音声データはX D C A M形式に変換されたファイル（m x f）を保存す

ること（ファイル名は振興会の公演記録識別表（別紙6参照）に基づき付けること）。

- (V) 有料配信する公演を編集する場合は以下の映像音声ファイル（mp4）を作成すること。納品日は原則として本収録業務完了後4日以内とするが、公演種別により本収録業務完了後翌日納品になる場合がある。

- ・フレームレート：1080p (1920×1080) 29.97fps
- ・映像コーデック：H.264
- ・音声コーデックAAC
- ・サンプルレート：48000Hz
- ・映像ビットレート：20Mbps程度
- ・音声ビットレート：320Kbps程度
- ・オリジナル映像がインターレースのため、プログレッシブ変換を行い、デインターレース処理（縞ノイズを除去したもの）を行う。

- (VI) 別紙3～別紙5はExcelで作成したデータを納品すること。

- (VII) ブルーレイディスク、LTOテープ及び外付けHDDは振興会が無償で支給する。

④ 業務時間

業務時間は、原則として9:30～18:30の間とし、この範囲内で業務の開始から終了までを行うものとする。

(3) 本業務の発注に関する要件

- ① 収録業務従事者及び編集業務従事者（以下「従事者」という。）について

- (I) 従事者はポスト制により発注する。

- ② 収録機器の使用日及び従事者のポスト数について

- (I) 「令和8・9年度収録機器使用予定日及び従事者予定ポスト数」（以下「予定日及び予定ポスト数」という。別紙7-1～7-8参照）による。ただし、変更がある場合は適宜対応すること。

- ③ 本業務の発注時期について

- (I) 調査資料係は月ごとの収録機器使用日、従事者ポスト数及び業務開始時間を「収録機器使用日及び従事者ポスト数発注票」（以下「発注票」という。別紙8参照）により前月15日までに受託者へ発注する。

- (II) ただし、令和8年4月の発注票は原則として令和8年4月1日以降に調査資料係が発注する。

- ④ 本業務発注後の変更について

- (I) 本業務発注の変更については、振興会・受託者とも原則として業務開始の1週間前までに連絡する。

- (II) ただし、天災地変、紛争、国立文楽劇場の火災等による罹災に起因した施設、設備、機器の損壊等、またはその他の事由により緊急に業務の内容を変更・中止する必要が生じたときは、振興会・受託者共、発注票によらず変更・中止をすることができるものとする。その場合の委託代金は、双方協議の上決定する。

3. 責任者の選任及び責務

(1) 選任

受託者は、責任者1名を選任して振興会に報告するものとする。振興会は、この責任者を通して業務の委託及び連絡・調整を行うものとする。ただし、従事者のポスト数が1の場合は、担当者から従事者への連絡は、受託者を通して行うものとする。

(2) 責務

上記（1）で選任された責任者は、以下の責務を負うものとする。

- ① すべての従事者を代表して業務及び労務管理を統括すること。
- ② 本業務履行に関する振興会との連絡・調整・報告。
- ③ 本業務履行場所において事故、災害等が発生した場合、その原因究明に協力すること。
- ④ 責任者が不在の場合は、予め選任した従事者が代理者として責任者の職務を代行すること。

4. 従事者の心得

(1) 従事者は、以下の点に留意するものとする。

- ① 火災・盗難・事故等の予防に万全を期すこと。
- ② 開場後のロビー、客席等劇場内での作業があるため、作業着等を着用し、身だしなみに注意すること。
- ③ 劇場内で観客に話しかけられたときは、丁寧に応対し、必要に応じて公演記録担当者もしくは国立文楽劇場職員等に連絡すること。
- ④ 本業務従事中は、所属先及び氏名を明示した名札並びに文楽劇場が指定する入館票を常に着用すること。
- ⑤ 国立文楽劇場の施設、設備及び備品等の取扱いについては適正に使用すること。
- ⑥ 業務上、国立文楽劇場の施設、設備及び備品等を使用するときには、事前に申告すること。また、使用後は原状に復すること。
- ⑦ 国立文楽劇場の施設、設備及び備品等に異常や損傷を認めたときは、速やかに担当者へ報告すること。
- ⑧ 国立文楽劇場の施設内で業務を行う前に、従事者は手洗い、消毒、マスクの着用、その他感染症対策の実施を行うこと。
- ⑨ 従事者に感染症罹患者が発生した場合、受託者は速やかに振興会に報告すること。

(2) 防災及び非常時の対応

- ① 国立文楽劇場の施設、設備及び備品等の取扱いについては、常に危険防止並びに防災に努め、安全に留意して業務に従事すること。
- ② 文楽劇場が指定した場所以外で喫煙をしないこと。
- ③ 天災地変及び火災等が発生したときは、公演記録のために設置したカメラ等の設備・備品を直ちに撤去する等危険回避に努めること。特に、劇場ロビー、客席周辺については、観客の避難・誘導、消火活動等の妨げにならないよう特段の配慮をすること。

(3) 守秘義務

- ① 履行中はもとより契約完了後においても、従事者は、本業務において知り得た守秘事項に係る一切の情報等を本業務の遂行以外の目的に利用してはならない。

5. 経費の負担

(1) 振興会は、受託者の業務実施のために必要と認めた作業場等の場所を無償で提供する。

(2) 公演記録担当者が業務に必要と認めた工具、備品等については、受託者は無償で使用できるものとする。

(3) 次の経費は、受託者の負担とする。

- ① 2. (1) ⑥ (III) に示した作業費
- ② 中継車の運用に必要な燃料費、ドライバー人件費
- ③ 機材運搬車及びそれにかかる燃料費、ドライバー人件費

6. その他

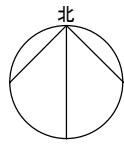
(1) 業務完了確認

- ① 本業務完了後、受託者は業務完了報告書を作成し、調査資料係に提出すること。
- ② 振興会は、業務完了報告書を受領した日から 10 日以内に、受託者が完了した本業務が契約の内容に適合しているか否かを検査し、これを確認する。

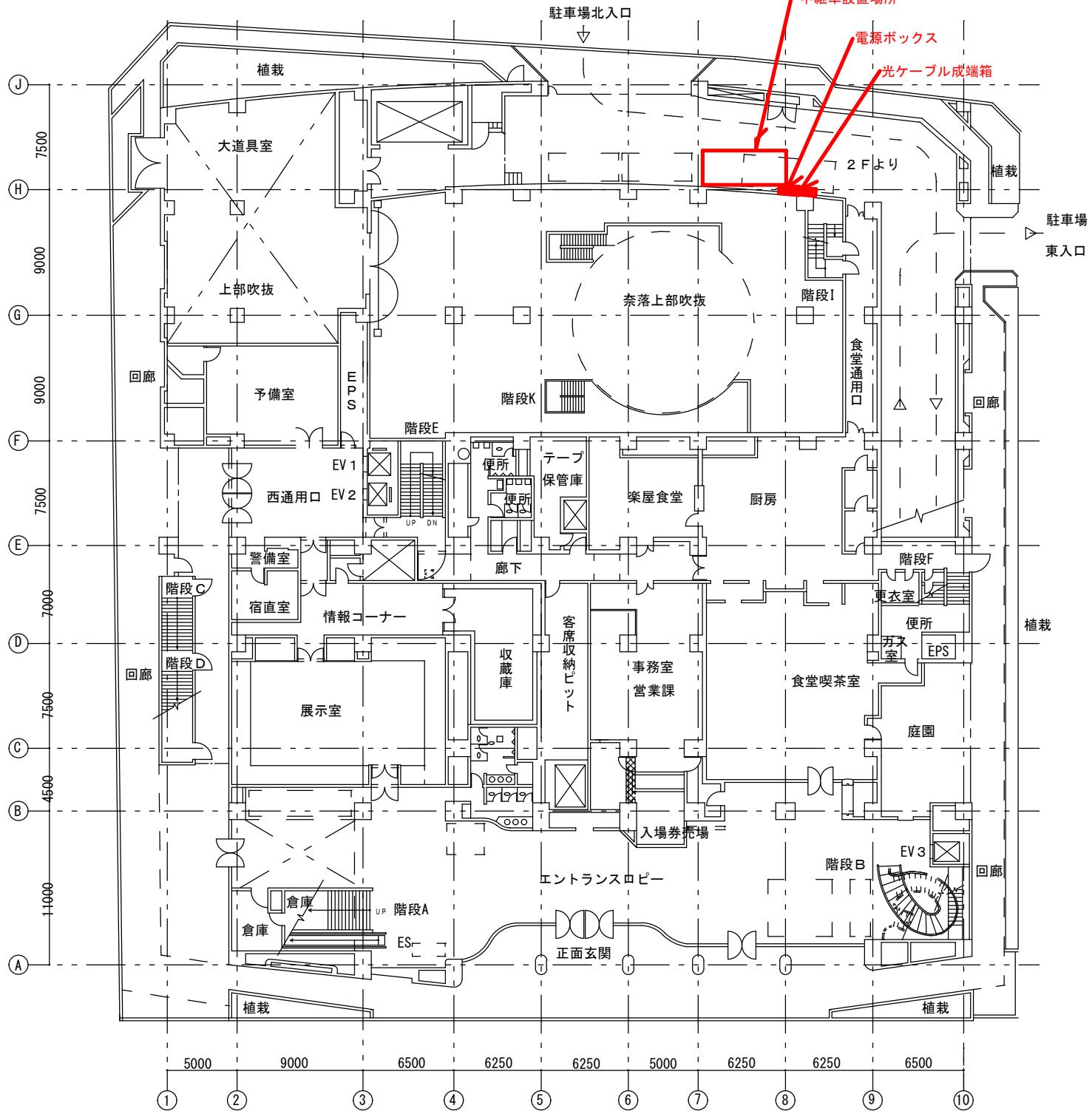
(2) 委託代金の請求及び支払

- ① 委託代金は、月ごとに支払うものとする。
- ② 委託代金は、収録機器一式の単価に使用日数を乗じて得た金額、並びに収録業務従事者及び編集業務従事者の業種ごとに定める単価に各ポスト数を乗じて得た金額の合計額に、消費税及び地方消費税を加算した金額とし、当該月に業務を実施したものを対象として積算する。
- ③ 上記②の単価は、次のとおり定めるものとする。
 - (I) 収録機器については 2. (1) ⑤ (I) の (i) から (v) について、それぞれ一式の単価を定めるものとする。
 - (II) 従事者については、テクニカルディレクター、カメラマン、ビデオエンジニア、VTRオペレーター及び編集業務従事者の業種ごとに、1 ポスト当たりの単価を定めるものとする。
- ④ 受託者は、調査資料係による業務完了確認後、請求書を調査資料係に送付するものとする。
- (3) 受託者が準備する機材につき、災害・火災等により損害が生じた場合は、明らかに振興会の責が認められる場合を除き、その損害は受託者が負う。受託者は必要に応じて損害保険などに加入するものとし、その保険料は受託者の負担とする。

別紙 1-1

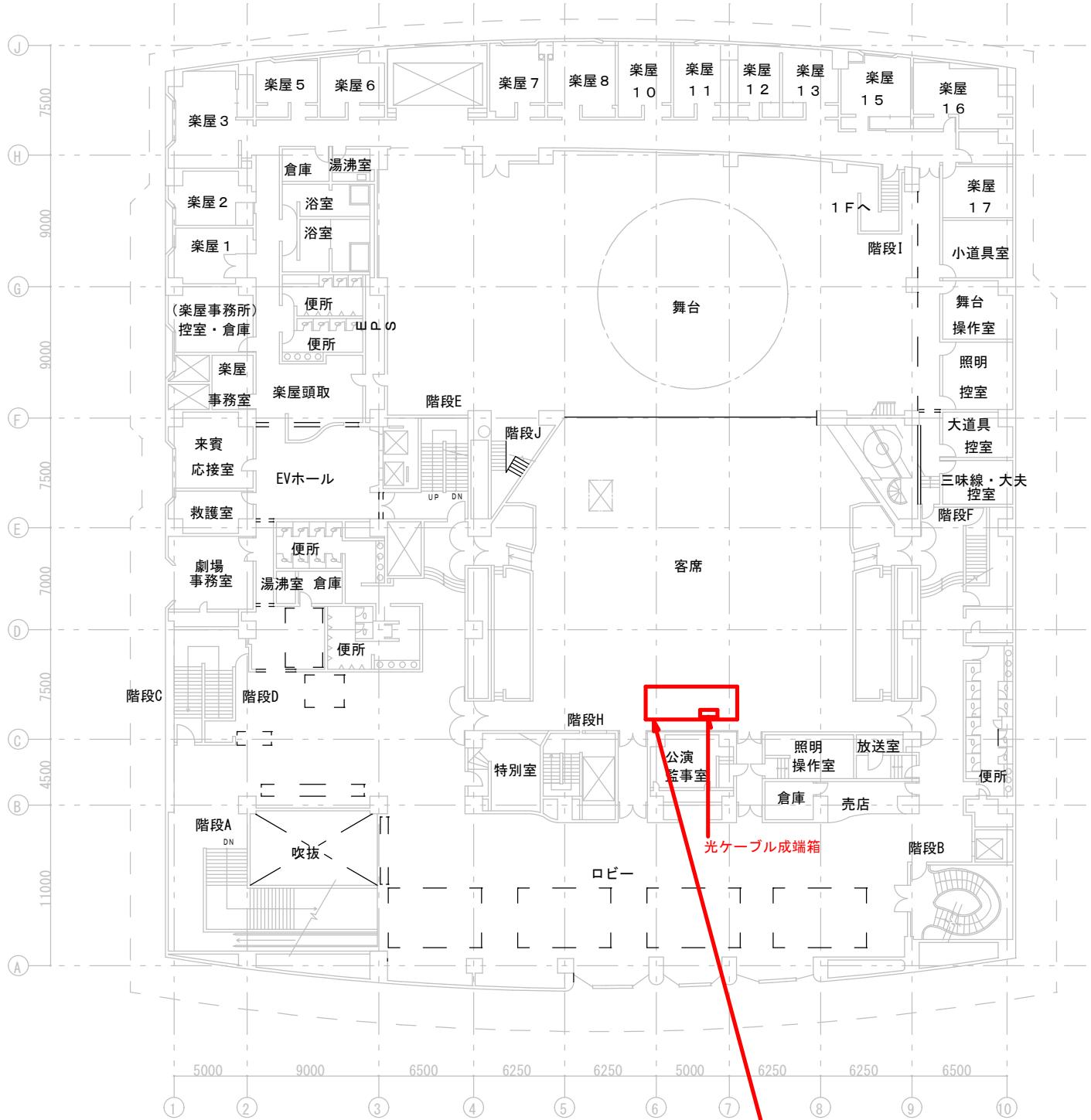


仕様書2.(1)⑤(I)(i)及び(ii)
中継車設置場所



1階平面図 S=1/400

別紙 1-2



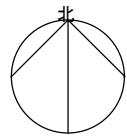
仕様書2. (1)(5)(I)(i)

仕様書2. (1)(5)(I)(ii)

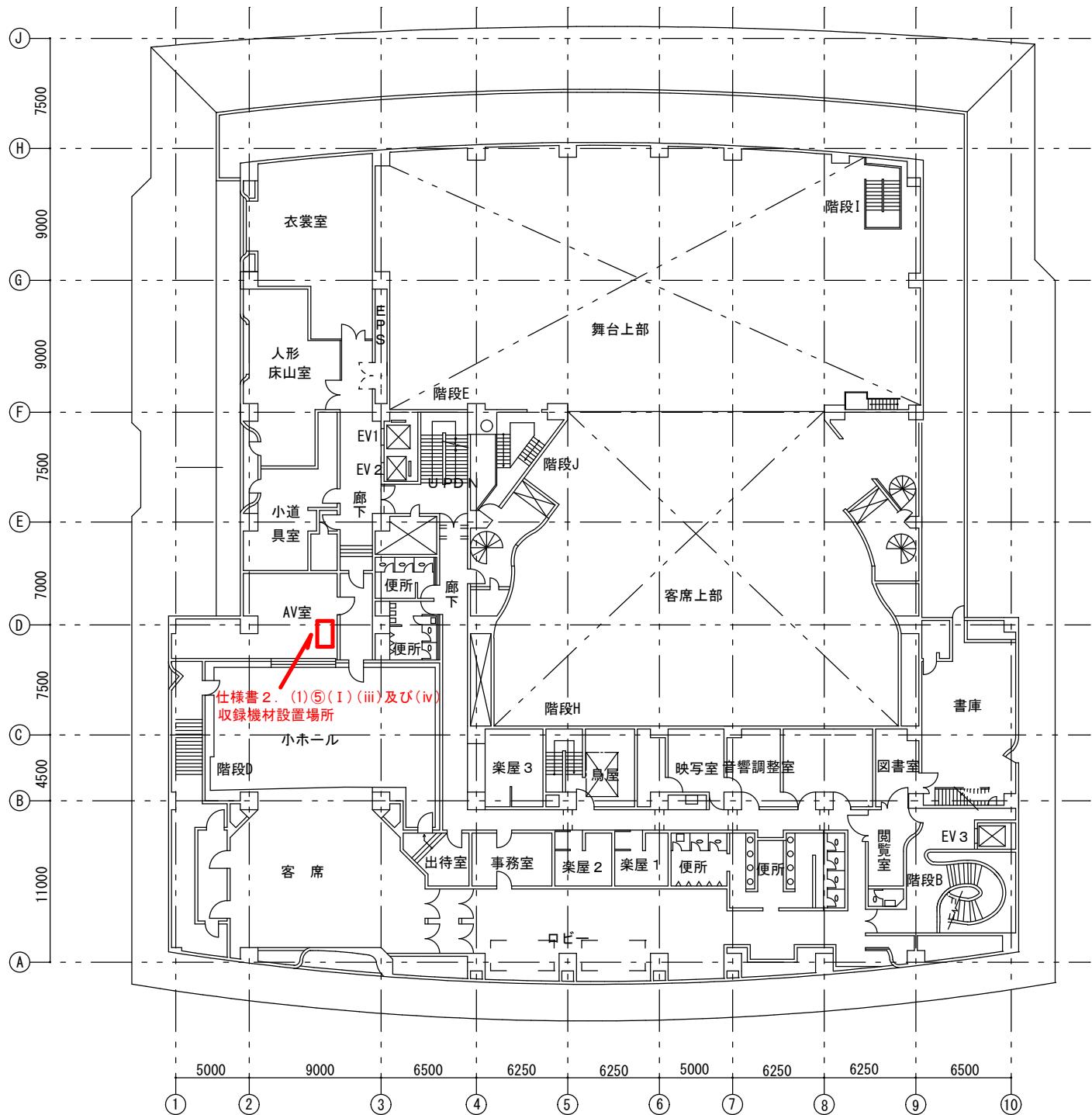
仕様書2. (1)(5)(I)(iii)

仕様書2. (1)(5)(I)(v)

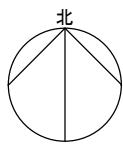
H D カメラ設置場所



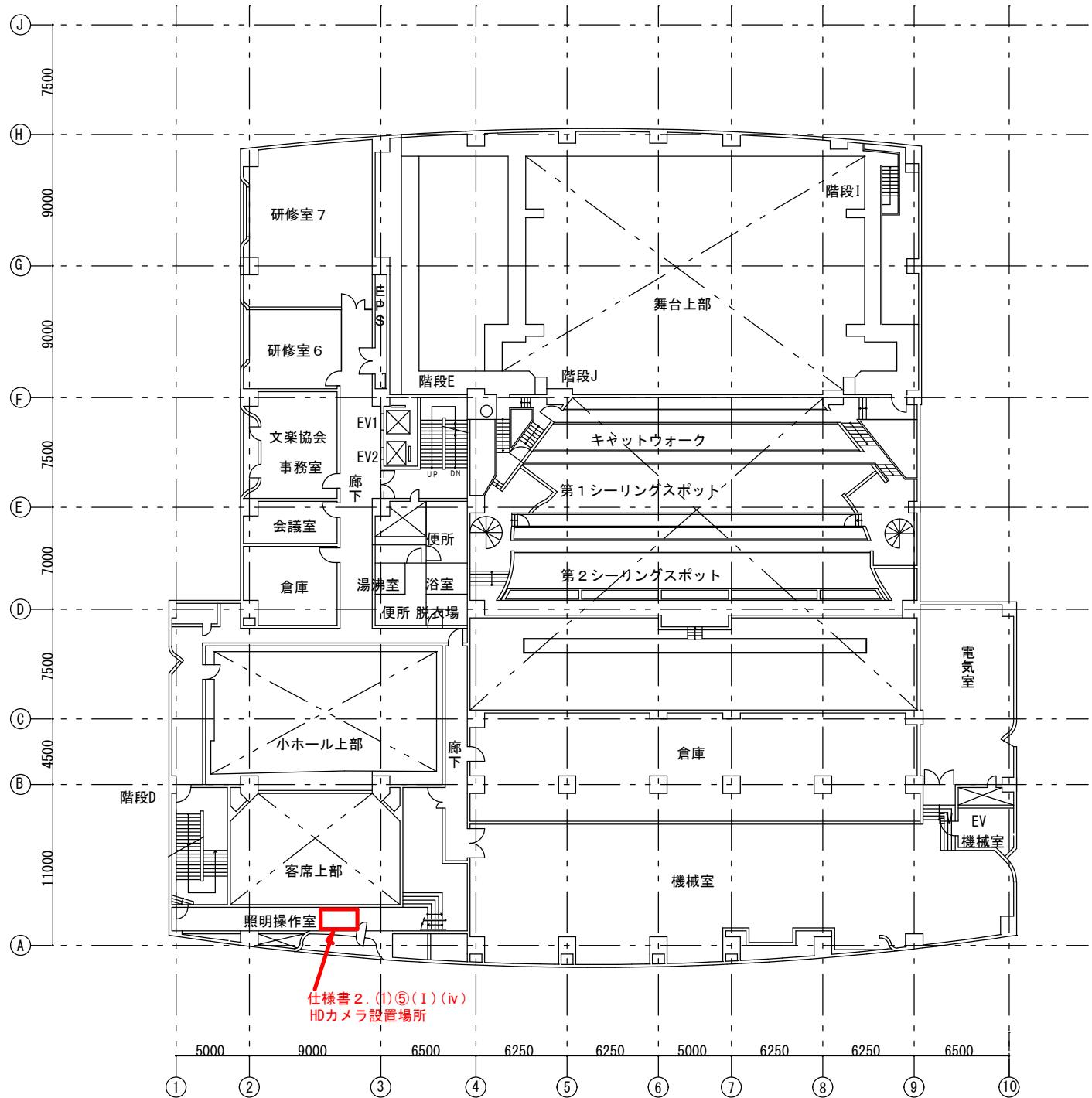
別紙 1 – 3



3階平面図 S=1/400

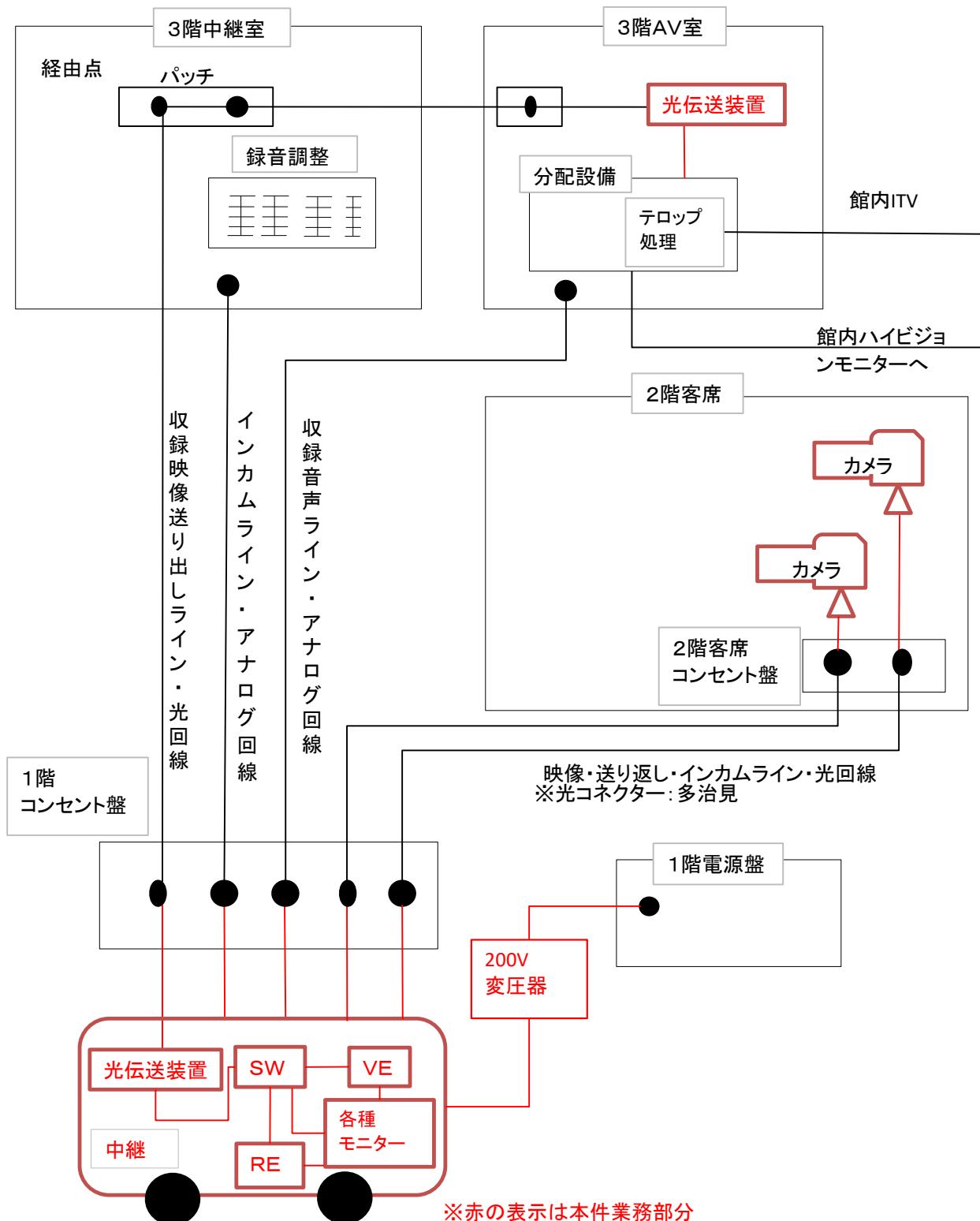


別紙 1-4

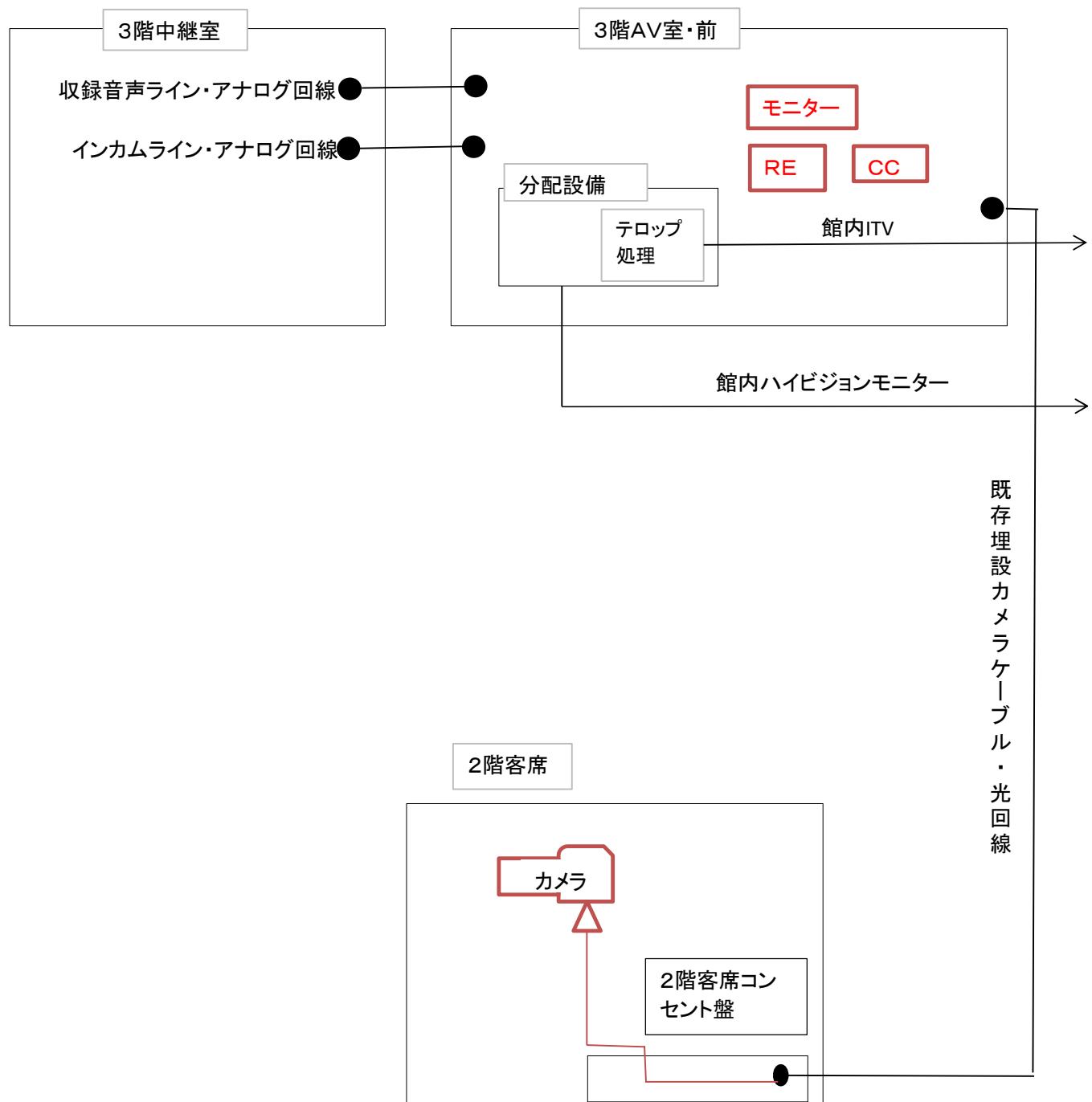


4階平面図 S=1/400

仕様書2. (2)⑤(I)(i)2階文楽劇場(カメラ3台使用時)…文樂公演、歌舞伎公演、特別企画公演 等
 仕様書2. (2)⑤(I)(ii)2階文楽劇場(カメラ2台使用時)…舞踊公演、邦樂公演、舞踊邦樂公演 等

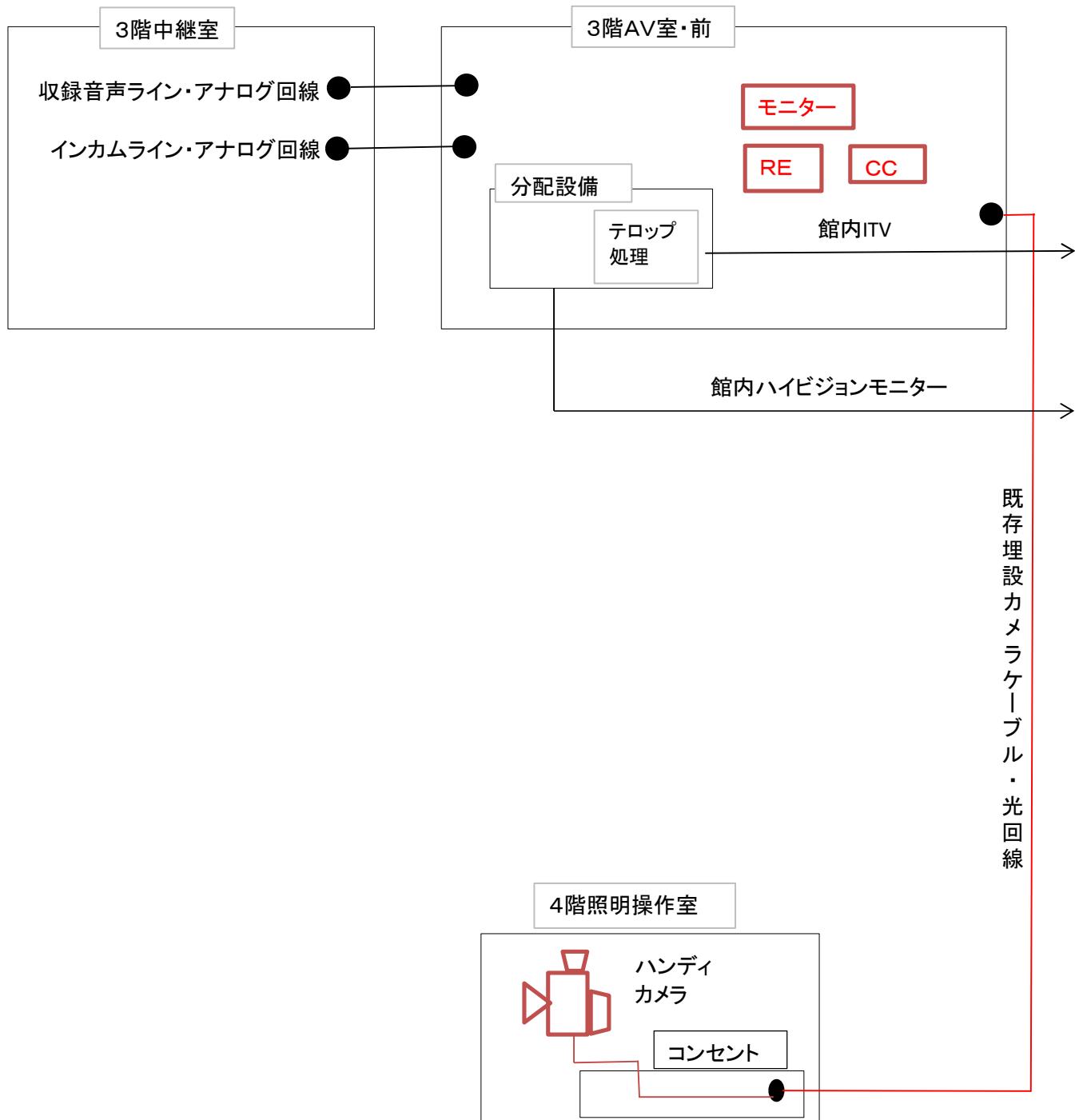


仕様書2. (2)⑤(I)(iii)2階文楽劇場(カメラ1台使用時)…素淨瑠璃の会 等



※赤の表示は本件業務部分

仕様書2. (2)⑤(I)(iv)3階小ホール(ハンディカメラ1台使用時)…浪曲録声会 等



※赤の表示は本件業務部分

公演記録映像MXFファイル メタデータ



國立文樂劇場

公演通し番号	736	収録状況			
データNo.	YRD0100180001-YRD0100180003	P · D			記入された データは 参考資料
公演タイトル	第180回文楽公演 Aプロ	SW'er			
演目	Welcome to BUNRAKU!/恋女房染分手綱/日高川入相花王	VTR			
収録日	2025年9月19日	A CAM			
収録場所	国立文楽劇場 2階文楽劇場	C CAM			
編集完了日	2025年9月30日	MIX			
編集場所	国立文楽劇場3階AV室		C B	100%	
編集担当者			OSC.	1kHz 0dBu -20dBFs	
作業内容	MPEG2 HD422 MXF Long-GOP → LTO				

第180回文楽公演記録映像

令和 7年(2025) 9月

別紙5

ファイルNo.	演目名	段名	時間	芸中
文楽劇場第180回文楽公演 Aプロ				
YRD0100180001	Welcome to BUNRAKU!		12分	0:10:13
YRD0100180002	恋女房染分手綱	道中双六の段	28分	0:24:10
		重の井子別れの段	40分	0:37:55
YRD0100180003	日高川入相花王	渡し場の段	28分	0:24:23

複製マザー

No.736
収録日 令和7年9月19日

YRD0100180-1/8

令和
7
年
9
月
文
樂
公
演記
錄
映
像記入され
たデータは

記号	映像登録用記号	公演名	劇場	備考
YRA0110	YRA,0110	特別企画公演(文楽劇場)	文楽劇場	
YRB0100	YRB,0100	民俗芸能公演(文楽劇場)	文楽劇場	
YRB0200	YRB,0200	琉球芸能公演(文楽劇場)	文楽劇場	
YRD0100	YRD,0100	文楽公演(文楽劇場)	文楽劇場	
YRD0200	YRD,0200	文楽鑑賞教室公演(文楽劇場)	文楽劇場	
YRD0400	YRD,0400	文楽若手会(文楽劇場)	文楽劇場	
YRD0500	YRD,0500	義太夫節に親しむ会(文楽劇場)	文楽劇場	
YRD0900	YRD,0900	文楽素淨瑠璃の会(文楽劇場)	文楽劇場	
YRE0100	YRE,0100	歌舞伎公演(文楽劇場)	文楽劇場	
YRE0500	YRE,0500	上方歌舞伎会(文楽劇場)	文楽劇場	
YRF0100	YRF,0100	邦楽公演(文楽劇場)	文楽劇場	
YRG0100	YRG,0100	舞踊公演(文楽劇場)	文楽劇場	
YRG0400	YRG,0400	舞踊・邦楽公演(文楽劇場)	文楽劇場	
YRH0100	YRH,0100	大衆芸能公演(文楽劇場)	文楽劇場	
YRD0300	YRD,0300	若手向上素淨瑠璃の会	文楽劇場	
YRD1000	YRD,1000	若手素淨瑠璃の会(文楽劇場)	文楽劇場	

令和8年度収録機器使用予定日及び従事者予定ポスト数

<令和8年度上半期>

令和7年12月1日現在

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
4	13	月	昼夜	文楽劇場	文楽	下見		11	2	1				
	14	火	昼夜	文楽劇場	文楽	テスト	(i)	(v)	14	2	4	1	1	
	15	水	昼夜	文楽劇場	文楽	本番	(i)	(v)	14	2	4	1	1	
				文楽劇場	文楽	編集			8				6	
									ポスト数	6	9	2	2	6
									時間数	78	123	28	28	48

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
5	15	金	昼夜	文楽劇場	特別企画	テスト	(i)		8	1	3	1	1	
	16	土	昼夜	文楽劇場	特別企画	本番	(i)		8	1	3	1	1	
				文楽劇場	特別企画	編集			8				2	
									ポスト数	2	6	2	2	2
									時間数	16	48	16	16	16

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
6	6	土	昼夜	小ホール	浪曲錬声会	本番	(iv)		9			1	1	カメラ固定
				小ホール	浪曲錬声会	編集			8				2	
									ポスト数	0	0	1	1	2
									時間数	0	0	9	9	16

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
6	8	月	朝昼	文楽劇場	文楽鑑賞教室	下見		11	1					
	10	水	朝昼	文楽劇場	文楽鑑賞教室	テスト	(i)		14	1	3	1	1	前半2公演リハーサル+後半午前リハーサル
	11	木	朝昼	文楽劇場	文楽鑑賞教室	本番	(i)		14	1	3	1	1	前半2公演本番+後半午後リハーサル
	12	金	朝昼	文楽劇場	文楽鑑賞教室	本番	(i)		14	1	3	1	1	後半2公演本番
	14	日	朝昼	文楽劇場	文楽鑑賞教室	テスト・本番	(iii)		11	1	1	1	1	社会人
				文楽劇場	文楽鑑賞教室	編集			8				8	
									ポスト数	5	10	4	4	8
									時間数	64	137	53	53	64

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
6	19	金	昼	文楽劇場	文楽若手会	下見		7	1					
	20	土	昼	文楽劇場	文楽若手会	テスト	(ii)		8	1	2	1	1	
	21	日	昼	文楽劇場	文楽若手会	本番	(ii)		8	1	2	1	1	2日目本番を想定
				文楽劇場	文楽若手会	編集			8				2	
									ポスト数	3	4	2	2	2
									時間数	23	32	16	16	16

令和8年度収録機器使用予定日及び従事者予定ポスト数

<令和8年度上半期>

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
7	3	金	昼夜	文楽劇場	邦楽	テスト	(iii)	8	1	1	1	1		
	4	土	昼夜	文楽劇場	邦楽	本番	(iii)	8	1	1	1	1		
				文楽劇場	邦楽	編集		8					2	
								ポスト数	2	2	2	2	2	
								時間数	16	16	16	16	16	

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
7	27	月	朝昼夜	文楽劇場	文楽	下見		11	2	1				
	28	火	朝昼夜	文楽劇場	文楽	テスト	(i)	(v)	14	2	4	1	1	
	29	水	朝昼夜	文楽劇場	文楽	本番	(i)	(v)	14	2	4	1	1	
				文楽劇場	文楽	編集		8					6	
								ポスト数	6	9	2	2	6	
								時間数	78	123	28	28	48	

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
8	21	金	昼夜	文楽劇場	上方歌舞伎	下見		6	1					
	22	土	昼夜	文楽劇場	上方歌舞伎	テスト	(i)		12	1	3	1	1	
	23	日	昼夜	文楽劇場	上方歌舞伎	本番	(i)		12	1	3	1	1	
				文楽劇場	上方歌舞伎	編集		8					3	
								ポスト数	3	6	2	2	3	
								時間数	30	72	24	24	24	

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
小計								上半期ポスト数	27	46	17	17	31	
								上半期時間数	305	551	190	190	248	

令和8年度収録機器使用予定日及び従事者予定ポスト数

<令和8年度下半期>

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
10	16	金	昼夜	文楽劇場	舞踊	テスト	(ii)	12	1	2	1	1		
	17	土	昼夜	文楽劇場	舞踊	本番	(ii)	12	1	2	1	1		
				文楽劇場	舞踊	編集		8					2	
									ポスト数	2	4	2	2	2
									時間数	24	48	24	24	16

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
11	9	月	昼夜	文楽劇場	文楽	下見		11	2	1				
	10	火	昼夜	文楽劇場	文楽	テスト	(i)	(v)	14	2	4	1	1	
	11	水	昼夜	文楽劇場	文楽	本番	(i)	(v)	14	2	4	1	1	
						編集		8					6	
									ポスト数	6	9	2	2	6
									時間数	78	123	28	28	48

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
1	11	日	昼夜	文楽劇場	文楽	下見		11	2	1				
	12	月	昼夜	文楽劇場	文楽	テスト	(i)	(v)	14	2	4	1	1	
	13	火	昼夜	文楽劇場	文楽	本番	(i)	(v)	14	2	4	1	1	
				文楽劇場	文楽	編集		8					6	
									ポスト数	6	9	2	2	6
									時間数	78	123	28	28	48

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
1	29	金	昼夜	文楽劇場	特別企画	テスト	(i)	12	1	3	1	1		
	30	土	昼夜	文楽劇場	特別企画	本番	(i)		12	1	3	1	1	
				文楽劇場	特別企画	編集		8					2	
									ポスト数	2	6	2	2	2
									時間数	24	72	24	24	16

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
2	20	土	昼夜	文楽劇場	浪曲名人会	本番	(iii)	8	1	1	1	1		
				文楽劇場	浪曲名人会	編集		8					2	
									ポスト数	1	1	1	1	2
									時間数	8	8	8	8	16

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
小計									下半期ポスト数	17	29	9	9	18
									下半期時間数	212	374	112	112	144

令和8年度収録機器使用予定日及び従事者予定ポスト数

<令和8年度合計>

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
合計								年間ポスト数	44	75	26	26	49	
								年間時間数	517	925	302	302	392	

収録機器*

- (i)仕様書2. (1)⑤(I)(i)を参照 年間 17日
 (ii)仕様書2. (1)⑤(I)(ii)を参照 年間 4日
 (iii)仕様書2. (1)⑤(I)(iii)を参照 年間 4日
 (iv)仕様書2. (1)⑤(I)(iv)を参照 年間 1日
 (v)仕様書2. (1)⑤(I)(v)を参照 年間 8日 ※ 都合により収録日程等が変更になる場合があります。

令和9年度収録機器使用予定日及び従事者予定ポスト数

<令和9年度上半期>

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
4			昼夜	文楽劇場	文楽	下見		11	2	1				
			昼夜	文楽劇場	文楽	テスト	(i)	(v)	14	2	4	1	1	
			昼夜	文楽劇場	文楽	本番	(i)	(v)	14	2	4	1	1	
			昼夜	文楽劇場	文楽	編集			8				6	
									ポスト数	6	9	2	2	6
									時間数	78	123	28	28	48

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
5			昼夜	文楽劇場	特別企画	テスト	(i)		8	1	3	1	1	
			昼夜	文楽劇場	特別企画	本番	(i)		8	1	3	1	1	
				文楽劇場	特別企画	編集			8				2	
									ポスト数	2	6	2	2	2
									時間数	16	48	16	16	16

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
6			昼夜	小ホール	浪曲錬声会	本番	(iv)		9			1	1	カメラ固定
				小ホール	浪曲錬声会	編集			8				2	
									ポスト数	0	0	1	1	2
									時間数	0	0	9	9	16

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
6			朝昼	文楽劇場	文楽鑑賞教室	下見		11	1					
			朝昼	文楽劇場	文楽鑑賞教室	テスト	(i)		14	1	3	1	1	前半2公演リハーサル+後半午前リハーサル
			朝昼	文楽劇場	文楽鑑賞教室	本番	(i)		14	1	3	1	1	前半2公演本番+後半午後リハーサル
			朝昼	文楽劇場	文楽鑑賞教室	本番	(i)		14	1	3	1	1	後半2公演本番
			朝昼	文楽劇場	文楽鑑賞教室	テスト・本番	(iii)		11	1	1	1	1	社会人
				文楽劇場	文楽鑑賞教室	編集			8				8	
									ポスト数	5	10	4	4	8
									時間数	64	137	53	53	64

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
6			昼	文楽劇場	文楽若手会	下見		7	1					
			昼	文楽劇場	文楽若手会	テスト	(ii)		8	1	2	1	1	
			昼	文楽劇場	文楽若手会	本番	(ii)		8	1	2	1	1	2日目本番を想定
				文楽劇場	文楽若手会	編集			8				2	
									ポスト数	3	4	2	2	2
									時間数	23	32	16	16	16

令和9年度収録機器使用予定日及び従事者予定ポスト数

<令和9年度上半期>

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
7			昼夜	文楽劇場	邦楽	テスト	(iii)	8	1	1	1	1		
			昼夜	文楽劇場	邦楽	本番	(iii)	8	1	1	1	1		
				文楽劇場	邦楽	編集		8					2	
								ポスト数	2	2	2	2	2	
								時間数	16	16	16	16	16	

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
7			朝昼夜	文楽劇場	文楽	下見		11	2	1				
			朝昼夜	文楽劇場	文楽	テスト	(i)	(v)	14	2	4	1	1	
			朝昼夜	文楽劇場	文楽	本番	(i)	(v)	14	2	4	1	1	
				文楽劇場	文楽	編集		8					6	
								ポスト数	6	9	2	2	6	
								時間数	78	123	28	28	48	

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
8			昼夜	文楽劇場	上方歌舞伎	下見		6	1					
			昼夜	文楽劇場	上方歌舞伎	テスト	(i)		12	1	3	1	1	
			昼夜	文楽劇場	上方歌舞伎	本番	(i)		12	1	3	1	1	
				文楽劇場	上方歌舞伎	編集		8					3	
								ポスト数	3	6	2	2	3	
								時間数	30	72	24	24	24	

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
小計								上半期ポスト数	27	46	17	17	31	
								上半期時間数	305	551	190	190	248	

令和9年度収録機器使用予定日及び従事者予定ポスト数

<令和9年度下半期>

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
10			昼夜	文楽劇場	舞踊	テスト	(ii)	12	1	2	1	1		
			昼夜	文楽劇場	舞踊	本番	(ii)	12	1	2	1	1		
			昼夜	文楽劇場	舞踊	編集		8					2	
									ポスト数	2	4	2	2	2
									時間数	24	48	24	24	16

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
11			昼夜	文楽劇場	文楽	下見		11	2	1				
			昼夜	文楽劇場	文楽	テスト	(i)	(v)	14	2	4	1	1	
			昼夜	文楽劇場	文楽	本番	(i)	(v)	14	2	4	1	1	
						編集		8					6	
									ポスト数	6	9	2	2	6
									時間数	78	123	28	28	48

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
1			昼夜	文楽劇場	文楽	下見		11	2	1				
			昼夜	文楽劇場	文楽	テスト	(i)	(v)	14	2	4	1	1	
			昼夜	文楽劇場	文楽	本番	(i)	(v)	14	2	4	1	1	
				文楽劇場	文楽	編集		8					6	
									ポスト数	6	9	2	2	6
									時間数	78	123	28	28	48

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
1			昼夜	文楽劇場	特別企画	テスト	(i)	12	1	3	1	1		
			昼夜	文楽劇場	特別企画	本番	(i)		12	1	3	1	1	
				文楽劇場	特別企画	編集		8					2	
									ポスト数	2	6	2	2	2
									時間数	24	72	24	24	16

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
2			昼夜	文楽劇場	浪曲名人会	本番	(iii)	8	1	1	1	1		
				文楽劇場	浪曲名人会	編集		8					2	
									ポスト数	1	1	1	1	2
									時間数	8	8	8	8	16

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	予定業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
小計									下半期ポスト数	17	29	9	9	18
									下半期時間数	212	374	112	112	144

令和9年度収録機器使用予定日及び従事者予定ポスト数

<令和9年度合計>

月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*	業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
合計								年間ポスト数	44	75	26	26	49	
								年間時間数	517	925	302	302	392	

収録機器*

- (i)仕様書2. (1)⑤(I)(i)を参照 年間 17日
 (ii)仕様書2. (1)⑤(I)(ii)を参照 年間 4日
 (iii)仕様書2. (1)⑤(I)(iii)を参照 年間 4日
 (iv)仕様書2. (1)⑤(I)(iv)を参照 年間 1日
 (v)仕様書2. (1)⑤(I)(v)を参照 年間 8日 ※ 都合により収録日程等が変更になる場合があります。

令和8・9年度国立文楽劇場公演記録映像の収録及び完成パッケージ作成業務

収録機器使用日及び従事者ポスト数発注票(令和8年4月)															
月	日	曜	昼夜	劇場	上演種目	作業	収録機器*		業務時間	TD	CAM	VE	VTR	編集	備考
4	13	月	昼夜	文楽劇場	文楽	下見			11	2	1				10:00集合、11:00開演
	14	火	昼夜	文楽劇場	文楽	テスト	(i)	(v)	14	2	4	1	1		7:30集合、10:00設営終了、11:00開演
	15	水	昼夜	文楽劇場	文楽	本番	(i)	(v)	14	2	4	1	1		8:00集合・カメ調、8:30～カット割確認、11:00開演
	16	木			文楽	編集			8					1	開始時間9:30
	17	金			文楽	編集			8					1	開始時間9:30
	20	月			文楽	編集			8					1	開始時間9:30
	21	火			文楽	編集			8					1	開始時間9:30
	22	水			文楽	編集			8					1	開始時間9:30
	23	木			文楽	編集			8					1	開始時間9:30
合 計										6	9	2	2	6	

収録機器*

- (i) 仕様書2.(1)⑤(I)(i)を参照
- (ii) 仕様書2.(1)⑤(I)(ii)を参照
- (iii) 仕様書2.(1)⑤(I)(iii)を参照
- (iv) 仕様書2.(1)⑤(I)(iv)を参照
- (v) 仕様書2.(1)⑤(I)(v)を参照

令和8年 月 日

上記により公演記録を実施いたしますので、見積書を御提出ください。

独立行政法人日本芸術文化振興会 国立文楽劇場

事業推進課長	課長補佐	調査資料係長	担当

記入されたデータは
参考資料